

特集・懐かしのわが校舎

校舎の変遷

明治校舎

1896(明治29)年に木造2階建の校舎が竣工、開口神社内の仮校舎から現在の校地に移転した。翌97年に校舎の南側に寄宿舎と食堂が竣工、99(明治32)年に付属建物等、全ての工事が完了した。複数の建屋

昭和校舎

明治校舎の老朽化に伴い、1928(昭和3)年の府議会で改築が決議されたが、浜口雄幸内閣による財政緊縮政策や校地拡張のための土地の買収が思い通りに進捗しなかったことにより、工事着手は難航。4年後の1932(昭和7)年2月によりやく竣工した。改築された校舎は同年3月25日付の「大阪毎日新聞」に「四月から新校舎へ―堺中学のモダン建築」という見出しで紹介され、話題となった。

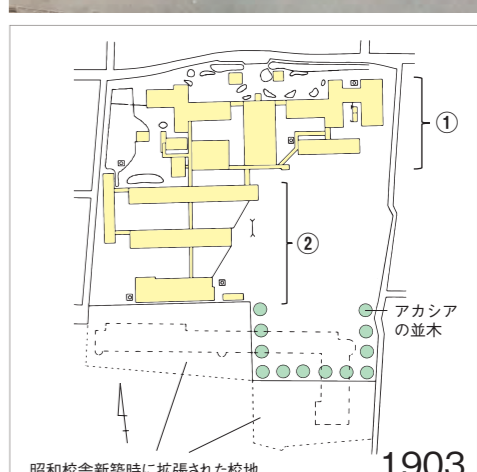
設計は大坂府営繕課の島野七郎氏。古典様式を排した幾何学形状や曲線、曲面を多用する分離派(*)の影響を受けた建築家であり、昭和校舎はその島野の代表作である。建築史家の川島智生氏によると「学校建築という範疇にとどまらずに、我国の近代建築史において、モダニズム初期の忘れてはならない建築の一つ」であるとされている。

1896(明治29)〜1932(昭和7)を渡り廊下でつなぐ配置で、敷地の南側に運動場を囲むようにアカシアの並木があった。当時の校舎の様子は「アカシアの花に囲まれた運動場を背景に、木造2階建の校舎が数棟、いずれも陸軍の兵舎並み」(中31期)されている。

1932(昭和7)〜1994(平成6)

昭和校舎の竣工時、新しい校舎に対する生徒の印象・感想は「昭和建築の粋を集め全く昭和初期に於ける建築の典型的な一校舎の外観、「出来るだけ腕を伸ばした様な堂々たる」「三層の一大楼閣にして外壁は卵色でめぐらされた実にスマートなモダンな校舎」、その構造は「鉄筋コンクリート三階建の大殿堂」であり、「壮大優美以て大王侯の宮殿を思はしむ」「永久的殿堂」というようなものであった(「茅渚の海」第五十五号、落成記念特集号)。

円筒形の階段室とそこに穿たれた丸窓という特徴的な外観を持つ昭和校舎はその後62年にわたり愛され続けてきたが、1994(平成6)年に平成校舎の新築に伴い解体され、惜しまれながらその姿を消した。竣工当時はまだ南館はなく、現在の西館の位置に平屋の体育館、柔道場、剣道場と兵器庫があった。



- 1895(明治28) 開口神社内の仮校舎で開校
- 1896(明治29) 明治校舎竣工①
- 現在の校地に移転
- 1897(明治30) 校舎南側に寄宿舎・食堂増築②



- 1932(昭和7) 昭和校舎竣工③
- 1934(昭和9) 三丘会館(現三丘資料館)竣工④
- 1942(昭和17) 西館北側に木造校舎増築⑤
- 1952(昭和27) 東側の土地に第二運動場整備⑥
- 1963(昭和38) 25mプール増築⑦
- 1970(昭和45) 南館増築、本館と接続⑧
- 1971(昭和46) 第二運動場に体育館竣工⑨
- 1972(昭和47) 旧体育館を視聴覚教室等に改修⑩

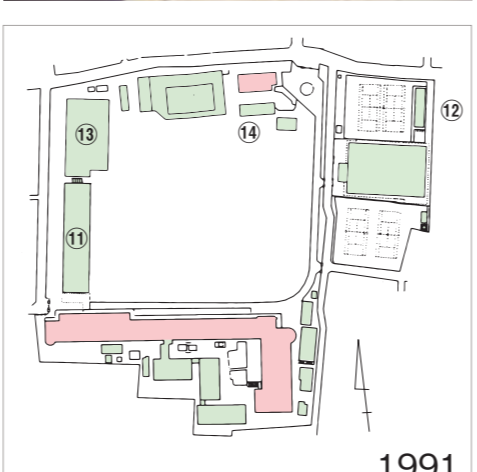
「駐蹕之趾」の碑

昭和校舎が竣工した1932年の11月には母校が陸軍特別大演習での「御講評場」となり、同13日に天皇が「駐蹕之趾」の碑が建立され、翌33年の11月13日に除幕式が挙行された。現在も北門の前に遺されている。



旧三丘会館(現三丘資料館)

三丘同窓会の校舎改築記念事業として1934(昭和9)年に建設された。竣工当時は1階を生徒用図書閲覧室、2階を同窓会館として使用していた。設計は堺中1期卒業で、大正から昭和にかけて活躍した建築家、久野節さん。代表作に難波の南海ビル(現南海難波駅・高島屋)などがある。2000(平成12)年に府立高校としては初の登録有形文化財となった。



- 1983(昭和58) 旧体育館跡に新西館竣工⑪
- クラブ倉庫増築⑫
- 1986(昭和61) 新西館北側に北館増築⑬
- 1988(昭和63) クラブ倉庫増築⑭

平成校舎

昭和校舎の老朽化が問題となり、改築が具体化したのは1989(平成元)年頃。91年に計画地の文化財調査、92年には先行してプールを体育館北側に改築、2年後の94(平成6)年に平成校舎が竣工した。併行して北館、西館が改修され、北館と新校舎が渡り廊下で接続された。



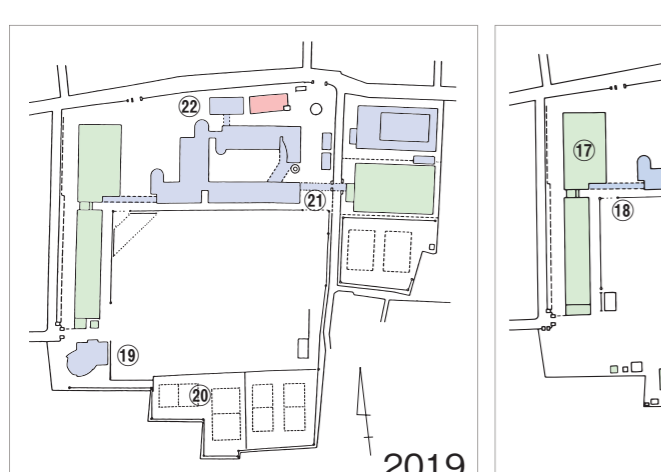
この中庭には百周年記念モニュメントとして高24回卒業の藪内佐斗司さん制作の童子像(男・女)があり、生徒たちの憩いの場となっている。



受け継がれたもの

90〜91年にかけて、卒業生や近代建築の調査・研究等を行う明治建築研究会から、校舎の保存活用の要望が学校や同窓会に対して出されたが、結果的に保存は実現しなかった。しかし、円筒形の階段室や丸窓、玄関ホールの床パターンや大理石の陳列ケースなど、昭和校舎のデザインの特徴が平成校舎にも取り入れられることになった(表紙参照)。普段は赤いカーペットで見えないが、下足室から中庭に面する廊下にも同様の床パターンが施されている。

竣工した94年4月26日付の「大阪建設工業新聞」には「伝統ある学校として、従前の重厚なイメージを損なわないよう、外観は円形外壁や丸みのあるデザインとし、旧校舎の意匠を部分的に再現するとともに、教育設備の近代化、高度化を図った」などと紹介された。



- 1992(平成4) 体育館北側にプール増築⑮
- 1994(平成6) 平成校舎竣工⑯
- 北館玄関ホール等の改修⑰に伴い、新館と渡廊下で接続⑱
- 1996(平成8) 新三丘会館竣工⑲
- 1998(平成10) 南館解体、バレーコート等整備⑳
- 1999(平成11) 校舎と体育館との連絡橋増築㉑
- 2006(平成18) 東館増築㉒

校舎の思い出

時代とともに変遷を重ねてきた母校の校舎ー
「あなたにとつての校舎の思い出」を聞いてみました

昭和校舎の思い出
平成校舎の思い出

自慢の校舎

思い出深い階段

校舎東側の玄関脇にある大理石の階段は日常使用することはなかったが、卒業前、階段踊り場で友人と進路について長時間立ち話をした。内容が記憶にないが長かった分その友人との距離感が近くなったと感じた。(高12回)



大理石の手摺

校舎の階段は、手すりとも巻き貝みたいな飾り、そして重みのある色合いのタイル。独特の歴史を感じさせていた。外観は円筒形で丸い窓が並んでいるさまは趣があった。(高16回)



半円形の踊り場と丸窓

堺東側の校舎端の階段を山岳部が砂袋を担いで練習に使っていました。秘かに憧れていた方が練習で上り下りしていたので、その階段の掃除当番に名乗り出て眺めていました。(高25回)



お洒落ならせん階段

らせん階段が印象に残っています。小中学校ではあのような階段はなかったのので、初めて歩いた時にお洒落だなあと感じました。(高55回)

吹き抜けの空間とらせん階段がけっこう好きだった。ちょっと暗い感じも気に入っていた。(高68回)

木の廊下・長い廊下

1階の奥にあった化学実験室に行く途中の廊下がとても暗かった印象があります。2階以上の廊下は木製だったので歩くときミシミシと軋む音が鳴りました。(高31回)



木製の廊下

雨の日の部活では、廊下でトレーニングのために、床がズボツとぬけて壊れたのを思い出しました。きちんと報告・修理したという記憶がないのですが、大丈夫だったかなあ。(高38回)

本館廊下の天井下の露出配管に鳩が巣食っていて、ときどき潰れた卵や糞が落ちていた。先生がなかなか来ないと思っていたら、落とされた糞を拭き拭き遅れて来られた。(高40回)



教室が並ぶ長い廊下

教室が一直線に並んだ長い廊下。放課後、端から端まで片足ケンケンで友人と競争した。どんつきの壁で両手を壁に押し付けて止まったので、掌がめちゃくちゃ痛かった。人生初の壁ドンでした。(高53回)

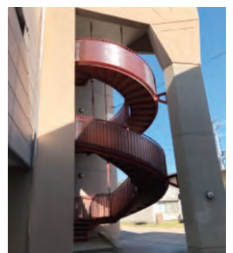
それぞれの勉強場所

2年生の冬、物理で成績下位者として7時限目の補習を受けた階段教室。50人のほとんどが女子で、「あんたもやっつたん」と暗さが微塵もない補習組の明るさ



昭和校舎の階段教室

毎朝部活の朝練をして、始業チャイムの1分前に赤いらせん階段を全力で駆け上がったことが懐かしいです。(高69回)



赤い屋外らせん階段

やっぱり丸窓

校舎の思い出と言えればやっぱり丸窓です。他にはなかなかないので高校の時からいいなあと思ってきました。(高30回)

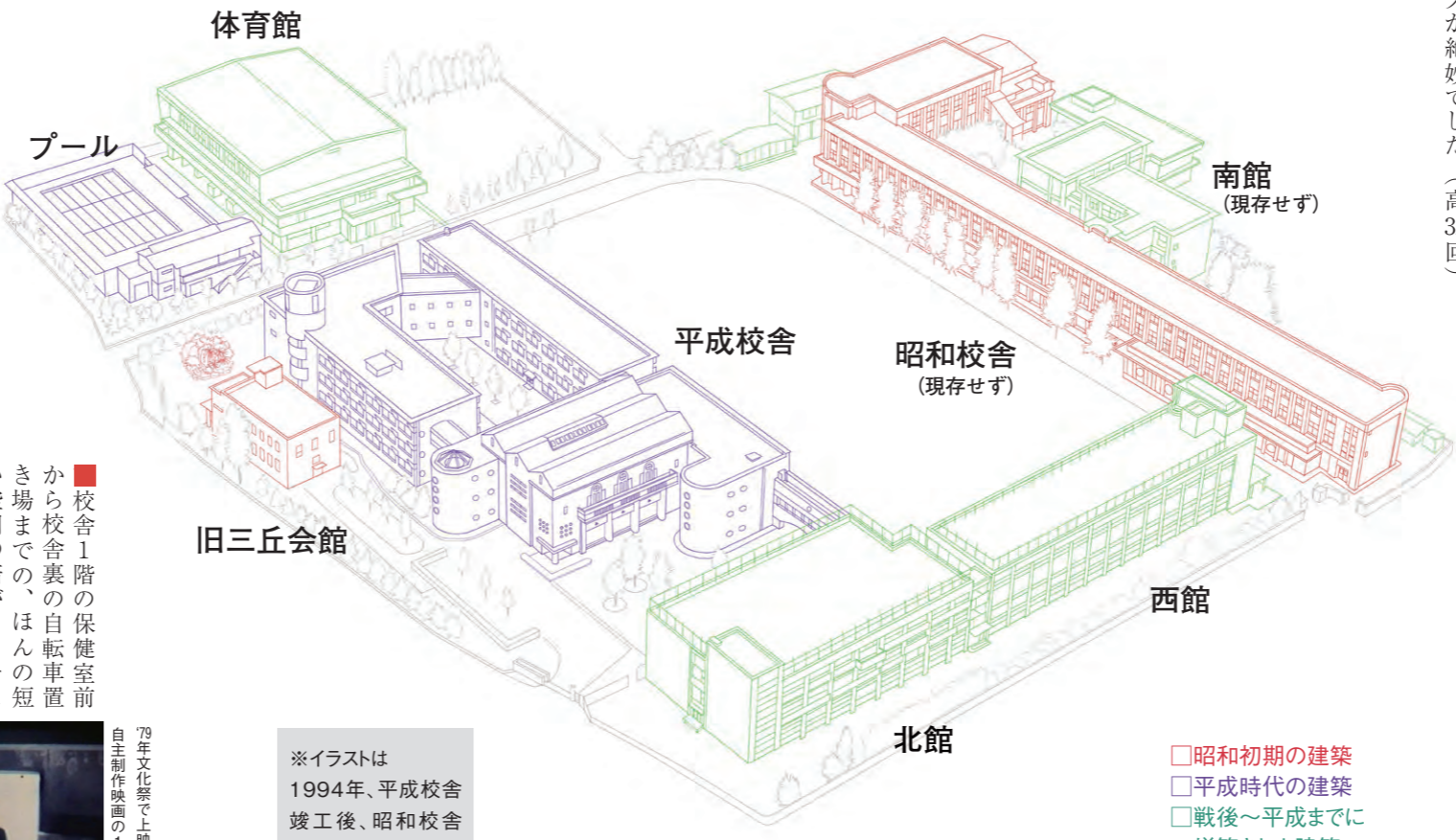
円筒形の壁面に穿たれた丸窓の外観が印象に残っています。窓の大きさや間隔、壁の曲率、縦に入ったリブなどのパラスが絶妙でした。(高32回)



円筒形の壁面と丸窓

船のような丸窓が好きでした。時を経て娘が入学した新校舎に丸窓を見つけた時は嬉しかったです。(高37回)

ディズニースーの海底20000マイルのアトラクションへ行ったときにサブマリンの窓が校舎の丸窓と同じようなデザインで、ちょっと嬉しかったです。(高38回)



昭和初期の建築
平成時代の建築
戦後～平成までに増築された建築

※イラストは1994年、平成校舎竣工後、昭和校舎解体前の航空写真より作成

校舎1階の保健室前から校舎裏の自転車置き場までの、ほんの短い空間の暗がりとそこに射す光が好きでした。(高33回)



79年文化祭で上映された自主制作映画の1シーン

旧三丘会館

当時「三国丘七不思議」のうちのひとつに、「真夜中に、三丘会館が回転するらしい」というのがあった。怖くない上に楽しげだった。(高38回)

卒業時にクラスの送別会があり、開催場所が旧三丘会館だと聞いたときはワクワクしました。当日は友達との会話も適当に、照明や階段や窓枠など二つ二つ目に刻んでいきました。自分が持っていたアコースティックギターで皆で何か歌おうという話になり、その歌声が高い天井に響いたことを印象深く覚えています。(高42回)



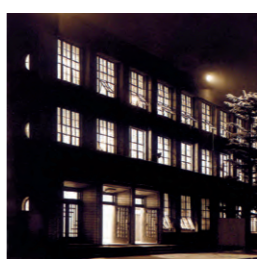
旧三丘会館

タイル張りの校舎とニセアカシア並木の道を歩く時、いつも爽快感を覚えた。そのたたくまいを私はとても気に入っていた。中学校と違った荘厳な風情を誇らしく思ったものである。(高6回)



校舎と並木

大学(京都工芸繊維大学の建築でのパス実習で題材の一つに旧校舎を取り上げました。象徴的なアールの壁に丸窓のフアサードを中心に建築パースとして描きました。私にとつて建築を志すようになった原風景の一つとして印象に残るデザインだったと思います。(高29回)



定時制授業時の夜景

私が入学した当時には新校舎も成人を迎えており、私より年上でした。新校舎は丸い窓・らせん階段・中庭を囲むようなつくり、どれをとっても洒落ていて格好良く自慢の校舎でした。部活動の対外試合で他校を訪問する度「ウチの方が格好いいな」と密かに思っていました。今でも高校の前を通ると素敵な校舎だなど見惚れてしまいます。(高69回)



校舎に囲まれた中庭

体育館とプール

体育館2階の体育教官室前の入口は夏場も風通しが良く、バスケット部の練習の合間に涼んでいました。(高44回)



来年で築50年の体育館

体育館が道路を渡ったところにあったのが気持ち切り替えられた。(高58回)

7つのレーンに、プールサイドには石段のスタンド。更衣室の立て付けの悪いドア、汚れたすのこ板。ビート板など練習用具を納めた部屋の壁には歴史記録が掲げられ、そこに近づくことを目標に練習に励んだ。その昭和プールの取り壊しを控えた秋、自分が最もよく練習したレーンの飛び込み台の一部を砕いて、そのかけらを記念に持ち帰った。(高45回)



昭和校舎のプール

校舎裏のビワの木

自転車置き場に行った時、もうすぐ熱するぞーという感じに、実がたわわのビワの木を見つけた！それからというもの、もう食べどきかなと毎日楽しみに偵察に行っていたのですが、ある日突然、実が全部無くなっていました！ものすごいショックを受けました。(高39回)

南館の裏にビワの木があった。1階には1年6組、2階には1年7組の教室があった。ビワは2階の高さの辺りになっていた。7組の生徒は目の前になっている実には見向きもせず、6組の生徒はわざわざ2階に上がって7組の教室に入って実をもらっていた。(高51回)

昭和校舎の講堂

高14回 森治郎（元朝日新聞記者）

旧校舎の東の端に「講堂」があった。初めて入ったのは入学式の日だった。「自由の鐘を打ち鳴らす」先輩たちの歌声が新鮮だった。それ以来、そこは刺激を受ける場だった。生徒会の諸集会で自治への真摯な眼差しを見た。弁論大会では普段はうかがい知れなかった彼や彼女の主張を知った。演劇祭では名優や迷優を何人も発見した。あるイベント開催を巡って生徒と学校側が激しくやりあった場にもいた。学校中で一番の学びの場だったような気がする。

■私が小学生の頃、高校は地区の避難場所になっていた。台風の接近に伴って、近所の人達と高校に行き、案内されたところが講堂だった。台風が通り過ぎるまで不安な時間を過ごした。ちょっと薄暗かった。校舎の裏にはユーカーなどの大木があって、高校の裏道を通るときはちょっと勇気がいった。（高16回）



講堂

■講堂の奥にあった音楽室には大型の三菱ダイヤトーンスピーカーがありました。時々レコードを掛けて聴いていたのですが、ある時音が左右逆なのに気付き、調べたら逆に結線されているのを発見。勿論正しい繋ぎ方に直しましたけど、直したことに誰も気が付かなかったというお話。（高21回）

■思い出の場所は部活動で慣れ親しんだ「講堂」と隣接している「部室」「音楽準備室」、そして中庭を見下ろすことができる「ベランダ部分」です。吹奏楽部は、練習も演奏を発表する場所も全て講堂でした。そして木漏れ日あふれる中庭を眺めたベランダが懐かしい。（高35回）

南館・西館・北館

■事の起こりは図書館棟を見下ろす南館3階付近。主人公は山岳部男子の一員で、常々この管理用タラップを使ってロープ懸垂の練習をしていた。ある日、最上部から下に向かって「○子さんと将来一緒になれなかったらここから飛び降りる！」と友人たちに叫んだ。この話を人づてに聞いた当時ハンドボール部で活躍した今の奥様と無事に結婚し、現在に至っている。（高19回）

■三国トンネルで有名な立派な校舎の裏には迷路のような教室が並んでいた。運動場も見えず、日当たりも余り良くない。ワンフロアに2教室しかない不思議な空間。どこか田舎の分校を思わせるのんびりとした時間が流れていた。入学早々その入り組んだ建物で迷い、2段飛ばしで駆け上がった階段。曲がりきれずに派手に転んだ、あの薄グリーン色のツルツル廊下を今も鮮やかに覚えている。（高33回）



南館 左が図書館棟

■西側にある校舎の特別教室の前にいるとき、本館の方から友人が出て来て、急いで追いかけようと走り出したら、



イラスト 和木美代子（高43回）

教室の前にあったすのこに足をひっかけ、7針縫う怪我をしました。（高34回）
■北館1階の教室だった時、友人がいつも窓から出入りしていた。（高42回）

部室の思い出

■校舎西側の運動部の部室は思い出すたびに顔がほころぶ。狭く薄暗かったが大声で話し大笑いした事が思い出される。本当に楽しかった。（高12回）

■入学後まもなくの頃、部室に案内されて圧倒される。ブロックで仕切られ扉は金網。西部劇に出てくる拘置所か?!ぐつしよりと汗で濡れたユニフォームを着替えた後の快い疲れと共に思い出すのは、土と汗が醸し出すあの部室に浸み込んだ独特の臭気。（高21回）

■1階真ん中階段東側に写真部の暗室があった。天文部の部室も変なところにあった。講堂の前の階段の上。そもそも何の部屋だったのか?聖堂の尖塔の上の方で、妖怪が閉じ込められているような部屋だった。（高33回）

■高49回は、入試で旧校舎を使用した最後の学年。吹奏楽部の私には、旧部室だった音楽室に併設の楽器庫は、立ち入ること少なかったが印象深い場所だった。校舎の陰だがテラスがあり、時代が止まったような不思議な光が差し込んでいた。（高49回）

■プールの下の部室と体育館の間の庭は、部活の前後や部活がない試験期間中も自然とみんなが集まる場所でした。同じ部活の先輩後輩だけでなく、他の運動部の子達とも会話したり楽しい思い出もあれば、部活のミーティングで真剣な話をしたり、悔しさを共有したりと、青春が詰まった場所でした。（高62回）



プール下の部室と庭

■高校生活の3分の2を部室で過ごし、教科書や服や体操着などを置まわっていた。（高72回）

高41回（高40回入学）

今井雅子（脚本家）

職員室のある本館一階、文化部の部室の並びに体操部の部室があった。いつもひんやりしている絨毯に座り、代々受け継がれている漫画を読み耽ったり、秘密の話をしたり。ピアスの穴を開けたのも部室だった。耳たぶを冷やすと麻酔になると聞いて、今はない三国屋でコカ・コーラの紙コップいっぱいの水を買い求めた。驚張りと生徒たちが呼んでいた廊下が軋みを立て、誰かの足音が近づいては遠ざかった。あの部室も、廊下も、すべて新しくなった。新校舎は風情がないと嘆く同窓生の声を聞く。わたしもその一人だが、今の校舎と物語を結んでいないだけかもしれない。そこで過ごす人たちと時を重ねて、味のある顔つきになっていくのだろう。